

4 . タイの動向

タイ



面積	51 万 4,000km ²
人口	6346 万人 (2002 年)
首都	バンコク
人種	大多数がタイ族。その他、華僑、マレー族、山岳少数民族等。
言語	タイ語
通貨	バーツ
宗教	仏教 95% (他教徒はいずれも少ない)
元首	プーミポン・アドゥンヤデート国王 (ラーマ 9 世王) (1946 年 6 月即位、在位 55 年)
4.政府	首相 <u>タクシン・シナワット</u>

(略史)

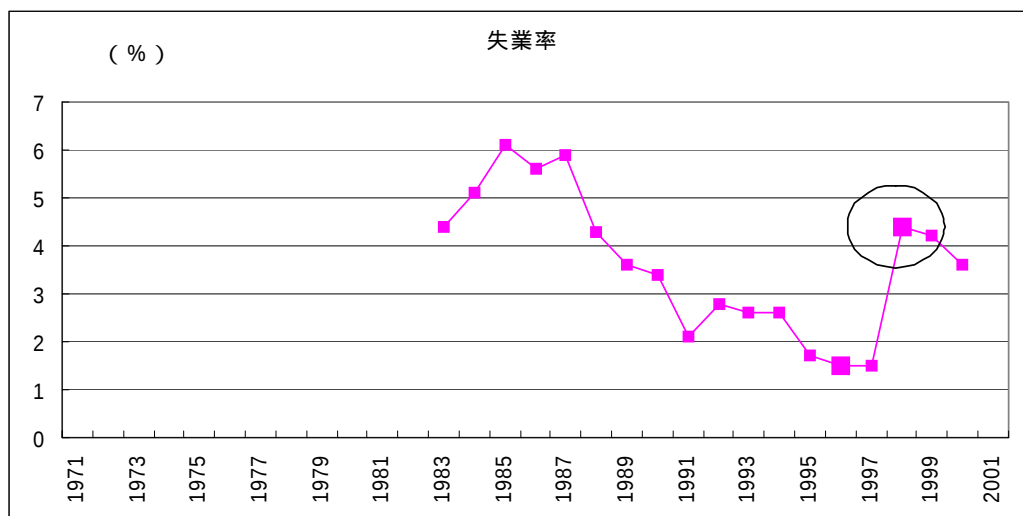
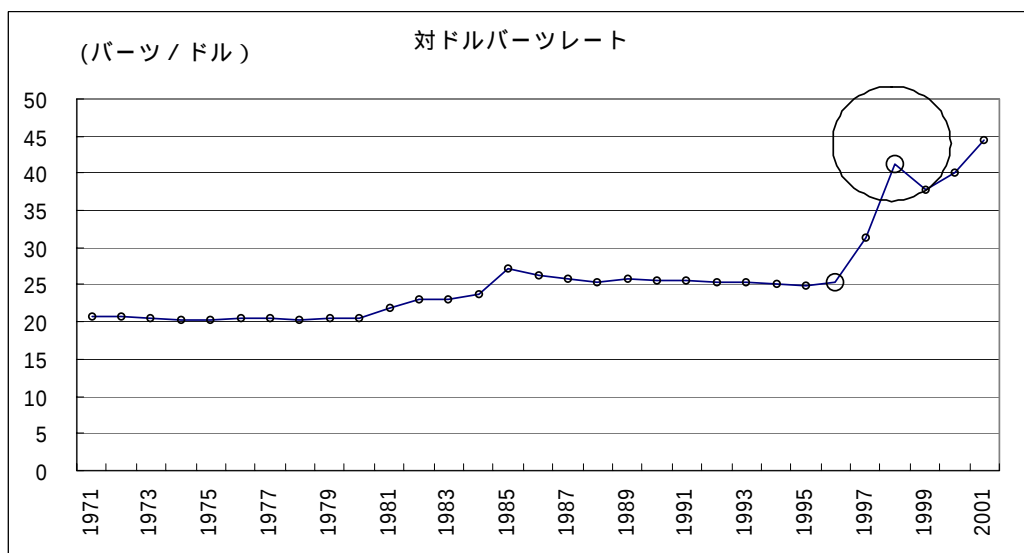
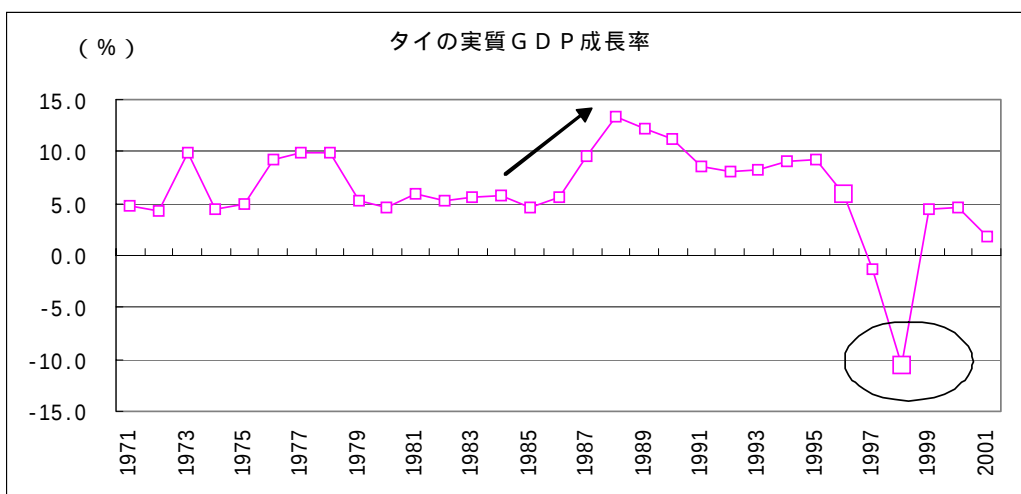
タイ族は、中国南西部から南下。王国の基礎は 13 世紀のスコータイ王朝より築かれ、その後アユタヤ王朝 (14～18 世紀)、トンブリー王朝 (1767～1782) を経て、現在のチャックリー王朝 (1782～) に至る。1932 年立憲革命。

タイの経済指標

	人口 (100万人)	経済規模 (米国 = 100)	1人当たり 所得 (米国 = 100)	経済成長 率 (1980 ~ 95年平均 %)	国内貯蓄 率 (%)	輸出 / G D P 比 (%)	農業従事 人口 (1990 年、%)	乳児死亡 率 (1000人 当たり)
アメリカ	263	100.0	100.0	2.9	15	11	3	8
日本	125	73.5	154.4	3.0	31	9	7	4
シンガポール	3	1.2	105.6	7.2	51	177	0	4
香港	6	2.1	87.7	6.5	33	147	1	5
台湾	21	3.8	46.9	7.5	25	49	11	5
韓国	45	6.6	38.4	8.7	36	33	18	1
マレーシア	20	1.2	16.1	6.4	37	96	27	12
タイ								
フィリピン	69	1.1	4.1	1.4	15	36	46	39
インドネシア	193	2.8	3.9	6.6	36	25	55	51
中国	1200	10.0	2.2	11.1	42	21	72	34
ベトナム	74	0.3	1.0	6.1	16	36	71	41

経済指標の動き

- ・ 実質 G D P 成長率 80 年代後半に成長率が上がったのはなぜか？
- ・ 対ドルバツレート 97 年には何が起こったのか？
- ・ 失業率



アタックナンバーハーフ (映画)

オカマのバレーボール選手であるジュンとモン。チームメイトから何かと疎まれてきた彼らは、ある日オナベのバレーボール監督と出会う。

最強のバレーボールチームを作るために奮起するものの、オカマとオナベの組み合わせに理解を示すプレーヤーはなかなか見つからない。このままでは地区大会出場も危ぶまれると踏んだ彼らは、「それならいっそ、自分らの友達を誘っちゃえ！」……かくして、オカマ、ニューハーフ、ゲイと前代未聞の顔ぶれのバレーボールチームが結成された！果たして国体への夢は果たされるのか!?

この嘘のようにホントの話を映像化したのは、元はCM畑の映像監督、ヨンユット・トンコントーン。タイの国体で優勝したチーム”サトリーレック”(タイ語で”鋼鉄の淑女”の意味)を見てその異様な色彩を放つ個性に魅入られ、「社会の犠牲者である彼らが差別を乗り越えていく姿を描きたい」と思い立ち、自ら監督を志願した。

しかし、タイにおいてオカマやゲイの総称”カトゥーイ”は、不道德な存在としての意識がまだまだ根底に流れていた。極めて政治的な意向により映画公開までの道のりは暗礁に乗り上げたが、ようやく封切りに漕ぎつけた2000年3月4日、この「アタック・ナンバーハーフ」は驚くべきことにUS250万ドルの興収を記録、タイ映画史上歴代興収2位にその名を冠した

興行の成功がタイの国民に及ぼした影響は計り知れない。バンコクでは選手たちのいでたちを真似て女装した”サトリーレック族”が繁華街を闊歩し、あらゆるメディアを巻き込んで賛否両論が唱えられるなど、まさに社会現象にまで発展する事態に。「アタック・ナンバーハーフ」は国民だけでなく、国の意識までもを変えた革命的な作品となったのだった。

S T A F F

監督：ヨンユット・トンコントーン 製作：ウィースラット・ブーンウォララック

C A S T

チャイチャー・ニムブーンサワット サハーパーブ・ウィーラカーミン

ジェッターポーン・ポンディー ジョージョー・マイオークチ

ゴッゴーン・ベンジャーティグーン エーカチャイ・ブーラナパーニット

シリタナー・ホンソーボン

2000年タイ/フォルテッシモ・フィルム・セールス提供

原題：SATREE-LEX/カラー/104分

配給：クロックワークス

提供：クロックワークス/吉本興業

タイ人の社会経済学～7つのポイント

平成 14 年 6 月 25 日

原 啓

1. タイ語に支えられる社会

声調：タイ語（5声）・中国語（4声）・日本語（1声）—よりソフト（音楽的女性的）
同じ声調が正反対の意味：クライ（近いと遠い） スワイ（美しいと醜い）など
おしゃべり好き・女性中心社会：自己主張よりは他人の意見を良く聞く事の重要性（切れたら負け）

2. 食文化に支えられる社会

世界でも珍しい食料自給国：米・野菜・果物・薬草など—豊かな食材
世界を席卷するタイ料理—東京にタイ料理レストランはいくつ？～世界に通用する食文化：それを食するタイ人の国際性（何でも飲み込め・民族同化・非排他的）

3. マイ・ペン・ライの社会

マイ・ペン・ライ—どのようにしてこの言葉の意味を理解するか？（タイ人の仏教観）
高価な皿を割った女中が言った「マイ・ペン・ライ」
「マイ・ペン・ライ」= その時々状況に甘んじる：人生輪廻、怒るな・時を待て

4. ノー・ブランド志向の経済

「ブランド」って何？何のため？—良いものは自分で判断すべき（柔軟な発想）
ブランドよりインターナショナル・スタンダードが重要—大学でも ISO9002 看板
豪華ホテルのような病院：最高水準の医療技術と快適な入院生活（日本はどう？）

5. 信じるものは自分だけの経済

高級レストランでも皿を拭く習慣：人を信じて問題を生じたら、それは自分の責任
信じるもの：自分—家族・親兄弟—使用人～タクシン首相の資産疑惑問題
信じてはいけないもの—権力と政府
結婚しても会社を辞めず：典型的共働き社会 = 女性の自立 + 財布は女性

6. 教育の経済

高学歴 = 高収入～修士・博士取得へのこだわり + 英語への熱意
国会議員の被選挙資格：大学卒業以上、憲法で保障された義務教育：高校まで
とにかく勉強する大学生そして社会人—いずれは博士号を（グローバルからローカル）

7. 多様な選択肢のある経済

おいしいラーメン：30 円～3000 円、散髪代：150 円～6000 円
バス代 10 円、高架鉄道 45 円、タクシー 90 円（初乗り）
収入に応じた生活可能：ローコストエコノミーがベース、でもサービスに遜色なし
人生もリセット可能—仏門への道